

「相手意識」について考える

—国語科と情報教育をつなぐキーワード—

砺波市立庄南小学校

教諭 林 誠



分かっているようで、
よく分からない

「相手意識」

- 「相手意識をもつ」って、「伝える相手が誰か分かる」ってということ？
- じゃあ、「相手意識を高める」って、相手が誰か分かったあと、何を高めるの？
- 「相手意識」って「相手を意識すること」でしょ？
- 意識するって・・・、ドキドキすること？恋愛じゃあるまいし。
- 実際に出会うと、相手意識が高まるという話を聞いたことがあるけど・・・。合うと、何が高まるのかな？

小学校学習指導要領（国語） と
小学校学習指導要領解説 国語編
に関する 問題

Q.1

小学校学習指導要領（国語）には、
「相手意識」という言葉は出ているでしょうか？

YES

NO

Q. 2

小学校学習指導要領解説 国語編 には、
「相手意識」という言葉は 何回 出て
くるでしょうか？

6 回

1 1 回

2 0 回

Q. 3

小学校学習指導要領解説 国語編 で、
「相手意識」という言葉が 最も多く
使われるのは どの学年でしょうか？

低学年

中学年

高学年

国語科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、**伝え合う力を高める**とともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

〔第3学年及び第4学年〕

1 目標

- (1) **相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話す**ことや話の中心に気を付けて聞くことができるようにするとともに、進んで話し合おうとする態度を育てる。(A話すこと・聞くこと)
- (2) **相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書く**ことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる。(B書くこと)
- (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。(C読むこと)

小学校学習指導要領解説 国語編 には

「相手意識」という語は、11回 使われている。

第1章「総説」 …… 0回

第2章「各学年の目標及び内容」 …… 2回

第3章「各領域の目標と内容」

第1節(第1学年及び第2学年) …… 1回

第2節(第3学年及び第4学年) …… 7回

第3節(第5学年及び第6学年) …… 1回

第4章「指導計画の作成と内容の取り扱い」 …… 0回

第3学年及び第4学年の部分の記述に圧倒的に多い。

「相手や目的に応じ…」、「相手や目的を意識して…」という記述は、

第1学年及び第2学年にも多い。

ア 目的意識・相手意識、自分の考えに関する指導事項 (p17)

すべての指導事項において、相手意識・目的意識と自分の考えをもつことを念頭に置きながら…(p17)

アの事項は、相手意識や目的意識をもつことについての内容である。(p32)

聞き手も相手意識や目的意識をもちながら聞く必要がある。(p63)

その際、相手意識や目的意識をより明確にもって書こうとする態度を育てることが…(p68)

第3学年及び第4学年では、相手意識や目的意識をより明確にもち、それらに応じて書く能力や…(p69)

「適切に書く」ためには、相手意識や目的意識をもち、記述の際だけでなく、書く材料の…(p69)

身近な人々が読者であるため、相手意識も具体的に持つことができる。(p75)

また、相手意識や目的意識をもちながら、言語事項(1)のア「…」と関連付けるとともに…(p81)

相手意識がはっきりした場の状況や目的を意識することができるようになる第3学年及び…(p84)

聞き手も相手意識や目的意識を高めながら聞く必要がある。(p98)

相手意識は、(明確にまたは具体的に)もつもの、
または高めるもの、であるらしい。

小学校学習指導要領解説 国語編 から分かること

「相手意識・目的意識」のように並べて使われることが多い。

「ア 相手や目的を考えながら、書くこと。」

「アの事項は、相手意識や目的意識をもつことについての内容である。」

のように、「相手意識をもつ」ということは、「相手を考えて」と同義のように書かれている部分がある。しかし、これでは、「相手意識を高める」とか、「相手意識を明確にもつ」とはどういうことかが分からない。

「相手意識」という用語をあまりきちんと定義づけて使っているようには思われない。

「聞き手も相手意識や目的意識を高めながら聞く必要がある。」(p98)とあるように、発信する側だけの問題とはしていない。

「双方向の伝え合う能力」(p128)を重視するという文脈の中で使われることもある。

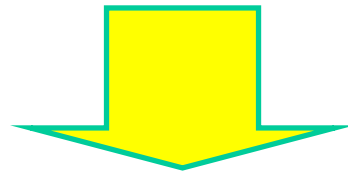
聞き手も**相手意識**や**目的意識**をもちながら聞く必要がある。(p63)

と

聞き手も**相手意識**や**目的意識**を**高めながら**聞く必要がある。(p98)

の、それぞれの前後の文脈は似通っており、「もちながら」と「高めながら」にそれほど意味の違いがあるとは思われない。

また、「相手意識をもつ」とは、具体的にどういうことなのか明示した部分はない(ように思う)。



自分で定義して使うしかないのではないか！

「伝え合う力」 = コミュニケーション能力

コミュニケーションとは(佐伯 朕, 2003)

コミュニケーションとは、第一に、他者理解である。

他社理解とは、他者には自分と異なる背景(歴史、文化)をもち、異なる考え方、価値観、習慣をもった「未知なる他者」と関わることで、こちらの知識や考え方を「相対化」して、自らを「外からの目」で見直すことによって、新しい自分を発見し、新しい自分を創出すること。

どこまでも、「分かり切る」ことのない相手に、できるかぎり歩み寄って、分かり合おうとしつづけること。

「相手意識」とは・・・

伝えたい相手が「どのような人なのか」を知りたい
(理解したい)と思う気持ちや意欲。

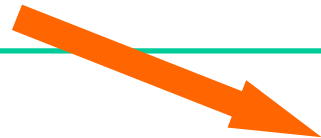
「何」を理解するか・・・

形式的な属性

ex. 名前、学年、年齢、住んでいる所
立場や肩書き、等

内面的な属性

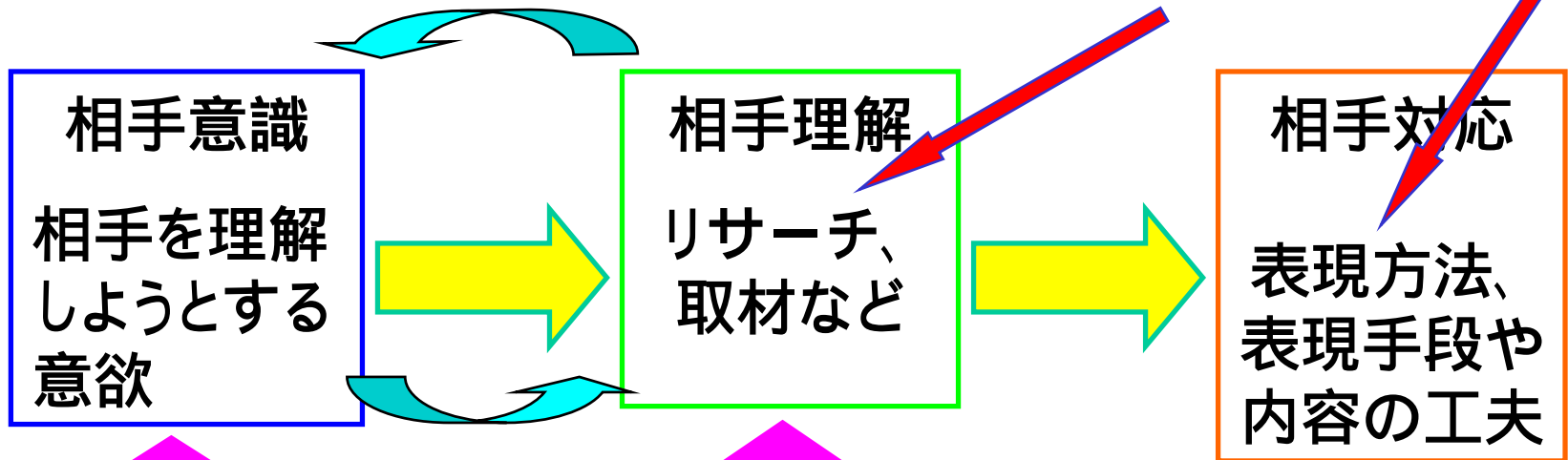
ex. 思いや願い、経験、既知 or 未知の事柄
「私」との関係性、等



自分の見直し

「相手意識」と「伝えること」と情報教育とのかかわり

相手を理解することで、
知りたいという意欲が、
より高まる。



目的意識の強さが相手意識
の高まりをもたらす。

目的意識の強さが活動を支える。

伝えたいという思い・願い(目的意識)

おわりに・・・

本校は、新年度から県の国語科の研究指定を受けます。

今日の私見をさらに見直しながら、研究仮説に生かしていきたいと考えているので、様々なご意見やご批評をいただければ幸いです。

よろしくお願いします。

